

スターマイン 580発打ち上げ

トワーム小江戸病院が夏祭り

医療法人社団松弘会の認知症専門病院「トワーム小江戸病院」(川越市、済陽輝久理事長)は、同病院で夏祭りを開いた。来賓には、川合善明川越市長はじめ衆議院議員、県議、市議ら多数が出席。

お祭りでは、ムラマツ芸能技塾による民謡と踊りのパフォーマンス、毛呂山町を中心に活動する式睦(にむつみ)のみこしの練り歩き、マグロの解体ショーが行われた。また、秩父山脈に源を発する地下水を地下128メートルからくみ上げた井戸水を使った流しそつめんを味わった。さらに、回想療法の一環として昭和レトロをイメージしたお祭りコーナーや、ドッグセラピー

のセラピー犬と写真撮影をしてオリジナルうちわをつくる「ふれあいドッグコーナー」などを設けた。夜の部では、敷地内でスターマイン花火580発を打ち上げ、夜空に彩る花火を楽しんだ。写真。

済陽輝久理事長は「秩父から



流れる地下水は、奇跡の水として有名なスペイン・ルルドの泉の成分に近い酸化還元電位の非常に低い理想的な水。この水を常時飲料水としても使用するの

で、少しずつでも健康になってもらいたい」と話していた。
(前田一亮)



2011年7月29日発行『埼玉新聞』
7月23日にトワーム小江戸病院で行われた夏祭りが掲載されました